松江まちかどダイアリー

松江市PRキャラクター
おまっちぇ

9/12 「小泉八雲朗読のしらべ」開催

photo by Nishikawa Toru

８年９月に美保関が重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことを記念して、小泉八雲ゆかりの地でもある美保神社にて、本市出身の俳優・佐野史郎さんの朗読と、ミュージシャン・山本恭司さんの音楽によるパフォーマンスが披露されました。

訪れた多くの人が、八雲の怪談の世界と境内の神秘的な雰囲気に魅了されていました。

10/3~4 ゆるキャラグランプリ15周年記念 「ゆるバース2026」におまっちぇ出場！

全国のキャラクター日本一を決めるイベント「ゆるバース」の決選投票が埼玉県さいたま市で行われました。会場で、おまっちぇは来場者と元気にふれあったり、松江の魅力を全国へ力いっぱい発信したりしました。

総合順位は、171位（435団体中）でした。たくさんの温かいご声援、ありがとうございました！

松江市ホームページ

防災メールに登録しましょう。
登録はこちら⇒

商標について：ＱＲコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報 松江 目次

02 ＃こどもまんなか松江
松江市のこども・子育て支援
06 松江まちかどダイアリー
07 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／町自連だより
08 小泉八雲とセツの面白エピソード／シリーズ松江の文化力×未来
09 松江の皆さんこんにちは。／第54回 松江市民美術展
10 ７年度の松江市の家計簿（決算）をお知らせします
15 原発立地に伴う交付金の使い道
16 ７年度 ふるさとづくり寄附の実績報告
17 ７年度 宿泊税の収入実績と活用事業／上下水道料金の減免および補助
18 ９年度 認可保育所・認定こども園・幼稚園などの入所・入園募集が始まります
19 高齢者・障がい者などの避難支援
20 子育て・健康・福祉
22 11月14日は「世界糖尿病デー」／11月は、膵臓がん（膵がん）啓発月間です!
23 情報ひろば
30 でかけてごしない～イベント情報～

松江市長　上定 昭仁 の

上を向いていこう

Vol.61

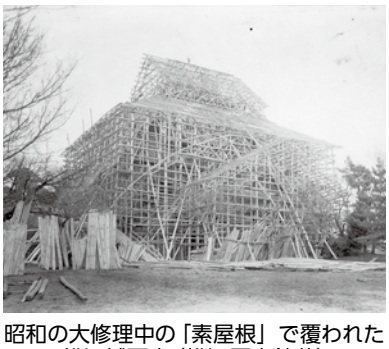
国宝松江城天守『令和の大修理』が始まります

本市の誇りであり国の宝である**松江城天守**は、**明治27年**に「**明治の大修理**」を、**昭和25～30年**に「**昭和の大修理**」を行い、その姿を今に受け継いできました。

しかしながら、「昭和の大修理」からすでに**70年が経過**し、屋根瓦の損傷・ずれ、雨漏り、壁板や狭間（さま）の劣化・塗装の剥落などが見られ、外観をはじめとする**大規模な修理が必要**な状態になっています。

このため松江市では、専門家による助言のもとで、**来年6月から3年7カ月をかけて「令和の大修理」**を行うことにしました。瓦はすべて外して点検するほか、屋根を葺き替え、壁面・建具なども修理します。

工事期間中は、天守を「素屋根」で覆うため、その設置と撤去にかかる期間（4カ月×2回）は登閣できません。一方で、修理を行う2年11カ月間は登閣でき、この時しか見ることのできない修理現場を特別公開する予定です。完成は令和12年末。翌13年1月には再び登閣が可能になります。



昭和の大修理中の「素屋根」で覆われた松江城天守（松江歴史館蔵）

松江城は、これまでも市民のみなさんの寄附や支援によって守られてきましたが、今回もふるさと納税による寄附のほか、**城山公園、市役所本庁、支所など**へ**募金箱を設置**しますので、ぜひご協力ください。なお、この募金箱には、**市内小学生**によって**松江城天守の絵**が描かれていますので、ご覧いただければ幸いです。

工事期間中の登閣制限など、市民や観光客のみなさんにはご不便をおかけしますが、先人たちがつないできた**松江の宝を、次の世代へ引き継ぐ**ため欠くことのできない取り組みとなります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

小学生が描いた松江城天守の絵が目を引く募金箱

町自連だより

未来へつながる秋鹿のまちづくりを

秋鹿地区自治会連合会
会長　樋原（ひばら） 哲也（てつや）

今、秋鹿地区の一番の課題は、令和11年に古江小学校・大野小学校と統合し、閉校となる秋鹿小学校の跡地利用を中心とするまちづくりです。そのため、従来の「まちづくり委員会」を再構築し、若い人たちの積極的な参加を得て「あいか元気花火」を見ながらのバーベキュー大会や、秋鹿小学校で開催する「秋まつり」の計画・運営、「秋鹿みそ」の復活への取り組みなどを行っていただいています。いろいろな発想を実践する中から、将来の向かうべき方向性を見つけていければと思います。

少子・高齢化が急速に進む中で、将来のふるさとがどうあるべきか、未来を担う若い人たちが真剣に考え、まちづくりを実践する姿を心強く思い、そして期待をもって住民みんなで取り組んでいきたいと考えています。

〈あいかまち駅の朝やけ〉

小泉八雲とセツの面白エピソード その14

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～

〈八重垣神社「鏡の池」〉

「鏡の池」の縁占い今昔

八雲の名前の由来にもなった八重垣神社。「鏡の池」は、縁（恋）占いの聖地として多くの観光客が訪れます。硬貨を乗せた占い用紙を池に浮かべ、早く沈めば（15分以内）縁が早く、遅く沈むと（30分以上）縁が遅いと言われます。しかし、八雲が書いた作品を読むと、昔は占い方が違っていたようです。一厘（いちりん）銅貨を紙の小舟に乗せるところまでは一緒なんですが、占いの主（ぬし）は池に生息するイモリ！沈んだ銅銭にイモリが近寄って来れば、恋の行方は吉、近づかないと凶と信じられたんだそう。なるほどイモリは両生類、漢字で「井守」と書きます。

小泉八雲とセツに関する出前講座の申込受付中。詳しくはこちら▶

シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人を紹介します！

湖上のバトンを受け継ぎ、「松江のシジミ」を広める

Vol.28

内久保（うちくぼ） 大希（ひろき）

本市出身。４年前に家業のシジミ漁を父から継承。
漁だけでなく、松江の食文化の１つ「シジミ」の魅力をこどもたちに伝える活動も行う。

学校講師を経て、父の跡を継ぎ、宍道湖のシジミ漁師になって４年になります。最近では、朝６時の冷たい風を感じながら船で漁に向かうことにも慣れてきました。

漁では「鋤簾（じょれん）」という編みカゴを使用します。いくつか種類がある中で、私が使用する水流式の鋤簾は、カゴの先端から出る水流で湖底の土を除き、土の中に隠れたシジミを掻き上げるものです。掻き上げたカゴには空き殻や稚貝も含まれるため、かなりの重さになります。体力が必要となるので、特に暑さ・寒さの厳しい季節は体調管理にも気をつけています。こうした環境の中で、一日の漁獲量の上限いっぱいまで漁ができた日の喜びは格別です。

まだ駆け出しの頃、私に温かく手を差し伸べてくれたのは、父や地域の先輩漁師たちでした。伝統の技や道具の扱いだけでなく、長年受け継がれてきた宍道湖シジミ漁に欠かせない知識を惜しみなく教えていただきました。この受け継がれてきた知恵と仲間の絆が、松江の豊かな漁業文化を支えていると実感しています。

また、私は宍道湖漁業協同組合所属の若手組合員で構成される青年部の一員でもあり、市内小学校を対象とした出前授業や宍道湖での体験学習にも力を入れています。この活動を通じ、こどもたちに「この街には世界に誇れる素晴らしい食文化がある」ということを肌で感じてほしいです。こども好きの性格と講師時代の経験はここで生かされ、体験を通じて地元愛の種をまいています。

32歳、漁師としてはまだまだこれからです。自分が獲った自慢のシジミを全国へ届け、松江の魅力を広めるとともに、こどもたちが松江の文化に誇りを持てるよう、「宍道湖のシジミ」を未来へつないでいきます。

宍道湖でのシジミ漁の様子

【問い合わせ】文化振興課　55-5517

松江の皆さん こんにちは。

竹内 恭子（たけうち きょうこ）

西浜佐陀町出身。松江市立女子高校（ハンドボール部）から島根看護短期大学へ進学。卒業後、大阪市内の病院に看護師として就職し、約20年間勤務。2025年にソニー生命保険株式会社へ転職し、医療現場での経験を生かして活動中。現在は夫、18歳の娘、16歳の息子と大阪市に暮らす。

松江の皆さん、こんにちは。竹内恭子です。私は松江市立女子高校を卒業後、島根看護短期大学に進学。その後大阪の病院に就職し、看護師として約20年間勤務しました。そして1年前、看護師での経験を生かして、ソニー生命へ転職し新たな一歩を踏み出しました。

私の原点は、高校時代のハンドボール部です。ゴールキーパーを務めていましたが、当時の顧問の先生はとても怖く、練習は厳しいものでした。しかし、そこで教わった多くのことと培われた「忍耐力」は、看護師時代、そして現在の仕事でも大きな支えとなっています。

現在は夫、18歳の娘、16歳の息子と大阪市で暮らしています。こどもたちは水郷祭の花火が大好きで、毎年夏には家族で松江に帰省するのが恒例行事です。とくに最後のしだれ花火が一番の楽しみです。あの迫力と美しさは感動します。その際、大好きな「若草」や「あさしお饅頭」を味わうのが、私の一番の楽しみでもあります。

今は亡き祖母が、いつも10時と15時のお茶の時間に煎茶と一緒にお菓子を出してくれるのが楽しみでした。

離れていても、私の心にはいつも美しい松江の風景や家族や友人との思い出があります。皆さんもどうぞお元気でお過ごしください。

近畿松江会にご入会ご希望の人はご連絡ください。
〒543-0014　大阪市天王寺区玉造元町2-34　東洋軒ビル4階　竹谷設計事務所内　近畿松江会事務局　☎090-3054-9159（竹谷）

第54回

松江市民美術展

文化振興課　☎55-5517

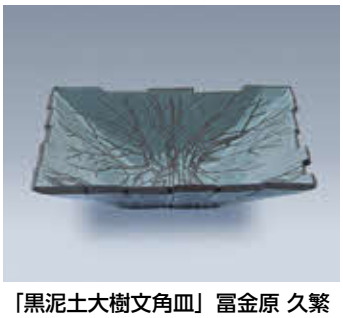
9月4日(金)から9月7日(月)まで島根県立美術館で第54回松江市民美術展を開催しました。

一般公募作品と招待作品をあわせて224点（工芸33点、デザイン28点、洋画88点、書20点、写真35点、日本画20点）の出品がありました。

一般公募作品のうち、市長賞受賞者の作品と優秀賞受賞者を紹介します。

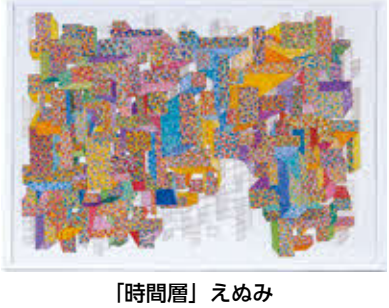
市長賞

工芸部門



「黒泥土大樹文角皿」冨金原 久繁

デザイン部門



「時間層」えぬみ

洋画部門

「薙」園田 里恵

書部門

「青麦の」
角 裕舜

写真部門

「青空に舞う」半田 恵美子

日本画部門

「悠か」三浦 泉

優秀賞

【工芸部門】川平 千恵
【デザイン部門】大西 七恵
【洋画部門】モブサイ子／曳野 みどり／松本 真理／講武 比富美／西村 仁伸
【書部門】柿永 百合香
【写真部門】加藤 正人／高井 正幸
【日本画部門】荒川 浩子